

ねりま小中一貫教育レポート

〇●〇 第 26 号 〇●〇

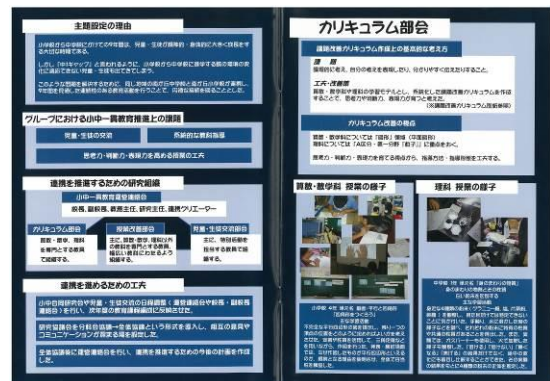
平成 26 年 7 月

発行：教育企画課・教育指導課

「ねりま小中一貫教育レポート」は、小中一貫教育の取組を全校で共有するため、随時発行しています。第 26 号では、平成 25・26 年度小中一貫教育研究グループに指定されている「南が丘中・南が丘小・南田中小」グループの取組について紹介します。

◆小中一貫教育の取組を紹介するリーフレットを作成

南が丘中グループでは、昨年度末に、小中一貫教育の取組を保護者に紹介するリーフレットを作成し、全家庭に配布しました。リーフレットの表紙には「中学校区に共通する課題」や「児童・生徒の実態・地域の願い、9年間で育てたい児童・生徒像」を掲げ、「カリキュラム部会」「授業改善部会」「児童・生徒交流部会」のそれぞれでどんな取組をしてきたか、わかりやすく説明してあります。



◆前年度2月までに小中合同の年間計画を作成

南が丘中グループでは、研究 2 年目となる 26 年度から、新たに南田中小学校が研究グループに加わりました。今年度の研究・取組日程を決めるために、昨年 11 月ごろから 3 校で何度も年間計画案を交換し、今年 1 月には、年間 7 回の合同研究会、4 回の授業研究のほか、あいさつ運動、部活動体験、乗り入れ授業、中学校説明会、授業見学など取組の大枠を決めました。

「教育課程の届出前に、動かしてもいいような行事を動かして、小中同じ日に研究会ができるようなベースを作らないと、連携クリエイターの先生にとっても苦勞をかけてしまいます。遅くとも前年度の 2 月までには、合同の年間計画を作っておかないと小中連携は進みません。このことは、これから小中一貫教育に取り組む学校の皆さんにも、ぜひお知らせしたいと思います。年度が始まる前に日程を決めておけば、苦勞が減ると思います」と管理職の先生からメッセージをいただきました。

◆小学生の体育の授業（中学校）見学

5月12日から23日までの2週間、南が丘小と南田中小の3～6年生が順番に、南が丘中の体育の授業を見学しました（＝写真⑥）。

南が丘中では、5月末の運動会に向けて、男子は組体操、女子はソーラン節の練習に取り組みます。小学生たちは、中学生たちがきびきびと自主的に練習に取り組む様子を見学した後、中学校の体育の先生から倒立のこつを教えて



もらい、中学生に補助してもらいながら、倒立の練習をしました（＝写真⑦）。

南が丘中グループでは、小・中学生の交流事業として、10月にも、小学5・6年生が中学校の合唱練習を見学する予定です。

部活動体験も土曜公開授業の午後などを活用して3回予定しているほか、リトルティーチャー、児童会・生徒会のあいさつ運動などを通して、3校の交流を深めていく予定です。

◆6月に2回の小中合同研究会と授業研究

南が丘中グループでは、算数・数学と理科の2教科で課題改善カリキュラムの作成に取り組んでいますが、2教科以外の教科でも「授業改善部会」を設置して小中の教科等の連携を進めています。

6月中旬の第2回研究会では、国語、図画工作、音楽、外国語活動の4教科で授業研究を行い、それぞれ講師を招いて研究協議会を開催しました。

6月下旬の第3回研究会では、新たに加わった南田中小学校の授業を全員で参観しました。授業



後のカリキュラム部会で、算数や数学で「答えは分かって、根拠を示して説明することのできない子供が多い」という課題に対して、数学的な思考力・表現力を高めるための手だてをどうすればよいかなどについて話し合いました。

◆小中教員のスポーツ交流



研究会終了後、午後5時から体育館でスポーツ交流会（バレーボール）が開かれました。

南が丘中学校グループでは、小中一貫教育を進めていくために、まずは小・中学校の教員同士が顔見知りになり、気軽に話せるようになることが大切だと考えています。